

木造十一面観音立像

| | |
|--------|--|
| 指定区分 | 県指定重要文化財(彫刻) |
| 読みかた | もくぞうじゅういちめんかんのんりゅうぞう |
| 所在地 | 倉敷市林 五流尊瀧院 |
| 指定年月日 | 昭和31年7月3日 |
| 解説 | 像高138cm。檜材の寄木造。虫喰いがひどく、傷んで肌が荒れているが、もとは白粉塗であったと思われる。几帳面に作られた耳の形や、宝髪が耳にかかっていることなど、鎌倉時代初期に制作されたことを物語る特徴が出ている。 |
| アクセス方法 | |
| 公開状況 | 非公開 |
| 設備 | |
| 備考 | |